

平成24年度 土木建築部当初予算(一般会計)要求の概要

(単位:千円)

区 分	24年度当初要求額	23年度7月補正後現計予算額	増減額	増減率
事業費	74,337,733	77,140,208	△ 2,802,475	△ 3.6%
うち公共事業	53,443,065	56,859,504	△ 3,416,439	△ 6.0%

I 要求のポイント

1 危機管理の強化

【基本方針】

自然災害等の未然防止や被害軽減を図るため、施設整備等の防災対策にハード・ソフト両面から積極的に取り組みます。

(1) 災害に強い県土づくりの推進

- ・大規模地震など自然災害時の緊急輸送道路網を確保するため、橋梁の耐震化や道路のり面の崩壊対策をさらに推進するとともに、沿道の民間建築物の耐震改修を促進します。
- ・豊肥大水害をはじめ、近年多発している異常出水に備えるため、玉来ダムの早期整備を推進します。
- ・河川事業や砂防事業など防災・減災のためのハード・ソフト対策を推進します。
- ・災害時の復旧活動の拠点となる県庁舎等の耐震化を実施します。
- ・住民の早期避難など地域の防災力を高めるため、災害時要援護者への早期避難対策等のソフト施策を充実させます。

2 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

【基本方針】

全国高等学校総合体育大会の開催に向け、開催会場の設備改修等に取り組みます。

(1) 県民スポーツの振興

- ・大分スポーツ公園総合競技場の大型映像装置の老朽化に伴い、設備を改修します。

3 交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進

【基本方針】

地域間の連携・交流、物流効率化、交通円滑化を図り、地域の発展を支えるため、道路や港湾などの社会資本の整備を推進します。

(1) 広域交通網の整備推進

- ・大分県中長期道路整備計画「おおいたの道構想21」により、国・県道の整備を着実に進めていきます。特に、東九州自動車道、中九州横断道路、中津日田道路、庄の原佐野線など広域交通網の整備を推進します。
- ・中津港や別府港など重要港湾の整備を推進し、陸海一体となった広域交通網を整備します。
- ・重要度・緊急度の高い公共施設の点検や補修により、施設の適切な維持管理と長寿命化の推進を図ります。

(2) 地域生活交通システムの形成

- ・地域の暮らしを支える道路整備のため、1.5車線の道路整備、道路敷きの有効活用による通行スペースの確保、植樹帯の見直しによる乗り入れ部の見通し確保などの手法により、コストとスピードを両立し、生活道路の利便性・安全性の向上を図ります。

II 事業体系（県政推進指針）

【安心・活力・発展の大分県づくりの推進】

1 互いに助け合い、支え合う安心・安全の大分県づくり

(2) 高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり

② 高齢者が安心して暮らせる地域づくり

└─ おおいた安心住まい改修支援事業 101,250

(6) 安全・安心な暮らしの確立

② 安全で快適な交通社会の実現

└─ (公) 地域活力基盤交通安全事業 2,835,439

└─ (単) 交通安全事業 853,500

(8) 危機管理の強化

① 災害に強い県土づくりの推進

└─ 安全・安心な地域づくりサポート事業 72,000

└─ (公) 地域活力基盤橋梁補修事業 1,959,162

└─ (単) 橋梁補修事業 1,005,000

└─ (公) 治水ダム建設事業 1,030,000

└─ 水源地域振興対策費 737,205

└─ 新 災害時要援護者早期避難対策事業 4,800

└─ (公) 急傾斜地崩壊対策事業 1,419,499

└─ (単) 急傾斜地崩壊対策事業 386,912

└─ 木造住宅耐震化促進事業 32,310

└─ 新 緊急輸送道路沿道建築物耐震改修促進事業 3,000

└─ 県有建築物防災対策推進事業 171,053

3 人を育て、社会資本を整え、発展する大分県づくり

(2) 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

③ 県民スポーツの振興

└─ 新 大分スポーツ公園総合競技場設備改修事業 396,710

(3) 交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進

① 広域交通網の整備推進

└─ (公) 道路改良事業 4,098,265

└─ (公) 地域活力基盤道路改良事業 12,746,698

└─ (公) 国直轄港湾事業負担金 1,204,706

└─ 新 港湾施設長寿命化推進事業 8,700

└─ (公) 都市計画街路事業 1,453,358

└─ (公) 連続立体交差事業 1,177,694

└─ 大規模施設計画的保全事業 600,000

└─ (公) 国直轄高速道路事業負担金 2,500,000

② 地域生活交通システムの形成

└─ (単) 暮らしの道再生事業 700,000

└─ (単) 道路改良事業 4,508,000

(注) 事業名前の「新」は新規事業を示す。

平成24年度 土木建築部当初予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail: a17000@pref.oita.lg.jp (土木建築部土木建築企画課)

平成24年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

(部局名：土木建築部)

(単位：千円)

事業名	平成24年度 当初要求額 (23年度7月補正 後現計予算額)	事業概要	所管課
1 (単) 橋梁補修事業	1,005,000 (1,155,000)	橋梁の耐震補強を促進するとともに、橋梁長寿命化維持管理計画に基づき、計画的補修を実施する。 ・震災対策 大野橋（三重野津原線） ・一般補修 檜落橋（国道387号） など	道路保全整備室
2 (公) 治水ダム建設事業	1,030,000 (500,000)	豊肥大水害で大きな被害を受けた市街地の安全性を向上させるため玉来ダムの詳細設計等を実施する。	河川課
3 水源地域振興対策費	737,205 (227,683)	大山ダムの24年度供用開始に向けた水源地域等の振興を図るため、日田市が実施する水源地域の振興事業に対し助成する。	河川課
④ 4 災害時要援護者早期避難対策事業	4,800 (0)	高齢者等の災害時要援護者の早期避難に資するため、老人福祉施設など要援護者施設周辺河川に簡易水位計及び量水標を設置する。	河川課
5 (公) 急傾斜地崩壊対策事業	1,419,499 (1,263,285)	がけ崩れなど急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命や財産を守るため、急傾斜地の法面对策工や擁壁工等を実施する。	砂防課
6 (単) 急傾斜地崩壊対策事業	386,912 (423,200)	県単独事業として、国庫補助事業の対象とならない急傾斜地の法面对策工や擁壁工等を実施するとともに、市町村事業に対し助成する。	砂防課
⑤ 7 緊急輸送道路沿道建築物耐震改修促進事業	3,000 (0)	災害時の緊急輸送道路を確保するため、沿道建築物の集積度の高い地域を耐震化重点地区に選定し、建築物耐震改修促進に向けた計画を作成する。	建築住宅課
8 県有建築物防災対策推進事業	171,053 (46,220)	県庁舎（本館）の耐震改修に向け実施設計を行うとともに、地方庁舎等の非常用電源増設等、防災対策を強化する。	施設整備課
④ 9 大分スポーツ公園総合競技場設備改修事業	396,710 (0)	大分スポーツ公園総合競技場の大型映像装置の老朽化に伴い、設備を改修する。	公園・生活排水課
10 (公) 道路改良事業	4,098,265 (4,244,404)	道路の改良や線形・勾配等の不良箇所の解消、橋梁の新設等を実施するとともに、歩道・自転車歩行者道等を整備する。 ・中津日田道路（中津三光道路、耶馬溪道路） ・飯田高原中村線（九重町） など	道路課

平成24年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：土木建築部）

（単位：千円）

事業名	平成24年度 当初要求額 {23年度7月補正 後現計予算額}	事業概要	所管課
11 (公) 地域活力基盤道路改良事業	12,746,698 (14,060,181)	社会資本整備総合交付金を活用し、県内の道路ネットワークを整備する。 ・国道212号（日田拡幅） ・国道217号（佐伯弥生バイパス） ・坂ノ市中戸次線（大分市） ・三重新殿線（豊後大野市） など	道路課
12 (特) 港湾施設長寿命化推進事業	8,700 (0)	港湾施設の長寿命化を図り、維持管理を計画的かつ適切に実施するため、県管理港湾の水域施設（航路・泊地）、外郭施設（護岸・堤防）を対象に維持管理計画を策定する。	港湾課
13 (公) 都市計画街路事業	1,453,358 (605,384)	慢性的な交通渋滞を解消するため、地域高規格道路（大分中央幹線道路）である庄の原佐野線を計画的に整備する。	都市計画課
14 (公) 連続立体交差事業	1,177,694 (3,407,779)	鉄道横断交通の渋滞を解消するとともに南北市街地の一体化を図るため、大分駅周辺の鉄道高架化を実施する。 平成24年度は、レール等の既存鉄道施設や踏切の撤去工事を行う。	都市計画課
15 大規模施設計画的保全事業	600,000 (400,000)	公共施設の長寿命化を図るため、大規模施設のうち保全措置の緊急度が高く、劣化が進んだものを対象として計画的な修繕工事を実施する。	施設整備課
16 (公) 国直轄高速道路事業負担金	2,500,000 (2,400,000)	東九州自動車道（佐伯～県境間）の整備に係る用地買収や本工事等の経費を負担する。	高速道対策局
17 (単) 暮らしの道再生事業	700,000 (700,000)	生活道路の安全性・利便性を低コストかつ短期間で確保するため路肩拡幅や側溝の蓋掛け、小規模な舗装補修など住民に身近な道路の再生工事を実施する。	道路保全整備室

※(新)は「新規事業」、(特)は「おおいた元気枠事業」

平成24年度 当初予算（一般会計）要求における廃止事業

（部局名：土木建築部）

（単位：千円）

所管課	事業名	廃止理由	23年度 7月補正後現計 予算額
1 建設政策課	県産木材有効活用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18～23年度の6か年事業として実施 ・事業目的が達成されたため廃止 	3,000